



平成 17 年度 第 5 回 (2005 年 7 月度) 理事会議事録

日 時	平成 17 年 7 月 16 日(土) 9 時 30 分～12 時 30 分
場 所	神谷町 事務所
出席者	理事 : 廣瀬、竹政、内田、泉澤、富田、岡、神野、土屋 監事 : ー 事務局 : 鹿野 (順不同、敬称略) (計 9 名)
欠席者	理事(委任状有) : 植村(廣瀬)、宮川(廣瀬)、関口(廣瀬)、西村(富田)、 上田(廣瀬)、山内(廣瀬)、岡崎(委任なし) 監事 : 高柳、大久保
議 題	<b>特別事項</b> 会長就任挨拶ならびに所感(廣瀬) <b>審議事項</b> 1 新入会員の承認(神野) 2 部会組織(廣瀬) 3 事務局組織(廣瀬) 4 赤坂事務所移転(廣瀬、竹政) (スケジュール) (引越しに付随する業務検討) (業務分担) 5 平成 16 年度会計報告の見直し(富田、土屋) (新収支計算書とその理由:平成 16 年度決算報告の訂正) (訂正した収支計算書の HP Notice 提案) 6 会計に関連した JSPE 体制について(土屋) (平成 17 年度予算案の見直し) (JSPE 事業と担当部会の確認) (平成 13 年作成の会計規程の見直し) (会計部会体制について…他部会の協力要請など) 7 JSPE と JPEC 間の業務協定書の最終合意文書にむけて(内田) 8 議事録作成に関する提案(神野) <b>報告事項</b> 1 平成 16 年度事業報告ならびに法人変更届出(富田)
添付資料	添付 1. 事務局および総務部会の位置づけと機能 添付 2. 赤坂事務所移転スケジュール(役割分担・タイムスケジュール・ 廃棄/持込区分表・購入予定品表) 添付 3. H16 年度会計収支計算書に関する東京都の指摘 添付 4. JSPE 部会活動運用規定(2004 年 5 月 16 日改定) 添付 5. 予算運用規定(2001 年 3 月 31 日) 添付 6. H17 年度予算(原予算、修正予算(討議資料)) 添付 7. JSPE と JPEC 間の業務協定書 添付 8. 特定非営利活動法人 2004 年度事業報告書提出・法人変更届出 添付 9. 平成 17 年会長就任挨拶



議事内容	アクション									
<p><b>●特別事項</b>            会長就任挨拶ならびに所感（廣瀬）添付9参照            今年の総会で7つの2005年度重点活動項目を定めたが、特に社会的テーマに関する以下の3点に力を入れることを強調した。            1. 社会的テーマに関する意見を外部に発信            2. 外部組織とのコラボレーション拡大            3. 会員が保有する専門技術、語学力、海外経験などを活用            これらを通じてJSPEバリュー「エンジニアの社会的地位の向上」を目指す。JSPEは設立後5年間常に成長をしつづけて来た。会員も増加し、活動も幅広く展開されてきたが、各部会長の負担が増え、本業の日常業務にも支障がきたす懸念がある。今後、業務改善に取り組みなければならない。JSPEの今期の取り巻く環境は厳しい。事務所の移転、FE試験の先行き不透明など懸念材料が山積している。新任理事の多い新体制で新しい観点で更なる躍進を遂げてほしい。</p> <p><b>●審議事項</b>            ① 新入会員の承認（神野）                FE 会員折笠 秀明                以上1名が会員として承認された。</p> <p>② 部会組織（廣瀬）</p> <table border="0" data-bbox="247 1093 1209 1198"> <tr> <td>部会名</td> <td>部会長名</td> <td>部副会長名</td> </tr> <tr> <td>総務</td> <td>竹政副会長</td> <td>富田理事、西村理事</td> </tr> <tr> <td>会計</td> <td>土屋理事</td> <td>泉澤理事（教育副会長兼）</td> </tr> </table> <p>上記の人事が承認された。            会計部会では木村悟氏の辞意が固く、運営に支障をきたすので早急に部会委員の補充をする。</p> <p>③ 事務局組織（廣瀬）（添付1参照）            昨年度は植村総務理事が兼任していた事務局長を富田理事が就任することが承認された。            事務局員として鹿野さんに来年2月まで兼任してもらうよう本人に依頼する。            事務処理がボランティア活動で行うには限界がきている。事務局常駐を考える場合、予算化処置が必要である。            事務局の業務内容を富田新事務局長より次回の理事会まで各理事に提案する。</p> <p>④ 赤坂事務所移転（廣瀬、竹政）（添付2参照）            新事務所への移転の業務、ならびに事務所移転に伴う業務の分担を検討し以下の結論を得た。            1. 荷物梱包準備 7月30日（土）役員中心に5名以上                ボランティア召集（竹政）            2. 運搬業者・・・JP E Cの引越しと共に見積もり取得（廣瀬）            3. オーナ情報・・・宮川理事（欠席のため竹政が依頼）            4. 新事務所の設置作業は宮川理事を中心に8月夏休みを利用して実施予定            5. 新事務所の開設は公式的に9月1日とする。それまでは神谷町の事務所をJP E Cの了解と好意を得て使用させてもらう。            従って、事務所移転の官庁やNSPE等の機関会員などへの連絡も、混乱を避けるため9月1日直前か、それ以後とする。</p>	部会名	部会長名	部副会長名	総務	竹政副会長	富田理事、西村理事	会計	土屋理事	泉澤理事（教育副会長兼）	<p>土屋理事</p> <p>富田理事</p> <p>廣瀬会長、 竹政副会長</p>
部会名	部会長名	部副会長名								
総務	竹政副会長	富田理事、西村理事								
会計	土屋理事	泉澤理事（教育副会長兼）								



議事内容	アクション
<p>6. 事務所引越しに伴う、業務は各部会ごとの業務をチェックリストに従って確認した。</p> <p>7. 新事務所 港区赤坂5-13-6赤坂キャステール212号</p> <p>⑤平成16年度会計報告の見直し（富田、土屋）添付3参照          （新収支計算書とその理由：平成16年度決算報告の訂正）          6月30日に前年迄の形態で事業報告書を東京都に提出したところ、事業活動支出が管理費に混入しているとして会計収支計算書の修正を求められた。会計部会における修正結果（管理費128万円相当を事業活動費に移動）について確認し了承した。（ただし東京都へは再提出済み）          （訂正した収支計算書のHP Notice提案）          上記修正は総会承認事項からの変更であるため、改定した事業報告書一式をHPに掲示しPE会員の承認を得なければならないとの提案があり、これを承認した。</p> <p>⑥会計に関連したJSPE体制について（土屋）（添付4, 5, 6参照）          1. 東京都のNPO法人の対応が変わってきており、極力事業を推進するように指導があった。          又、FE試験の先行き不透明であり、新規会員が減少する懸念があり、現在の会員数維持する対策が必要であり、JSPEの経営の健全性を確保するために事業を推進していかなければならない。          2. 会計部会の業務が煩雑を極め、更に松岡理事、木村会計部会員が業務を外れるので、正常な運営が困難であり、各部会に業務を割り振る。          例えば会費督促は会員部会担当など          3. 先の東京都向けH16年度事業報告に併せて、H17年度予算についても各部会別予算費目を含めて修正する必要がある。添付資料7の考え方で修正し、別途理事会に掛ける予定。</p> <p>⑦JSPEとJPEC間の業務協定書の最終合意文書にむけて（添付7参照）          6月25日・臨時理事会で、田崎氏から配布されたJSPE/JPEC業務協定書のドラフトをJPEC理事監事全員でレビューし、取りまとめた。その結果を、Rev.1として、本日、審議した。その結果、          (1)リース          コピー機についての支払い内容を具体的に記述する。          (2)その内容の変更した、Rev.2を発行し、廣瀬会長へ送る。会長から、全理事・監事へ業務協定書を送付し意見を求め、8月1日までに本業務協定書を正式に発行することスケジュールで進めることになった。</p> <p>⑧議事録作成に関する提案（神野）          議事録の早期作成とメール受送信軽減のため対策          1. 理事会開催通知は議事録1ページ目に記載し、各理事に送信し、各理事が議題および出欠席を開催通知に記載する。          2. 各議事担当者が議事録を書く。          3. 開催日の翌日の日曜夜までに managementBBS に議事録を記載する。          4. 会長担当の議事録は議事録担当者が書き、会長のチェックをもらう。          5. 議事録担当者が managementBBS に記載の各議事録を取りまとめ各理事に配布する。          上記手順で試験的に実施する。          尚、電子メールを使用する頻度を減らすために、極力 managementBBS を使用する。          返信の電子メールで全員に返信は極力使用しない。</p>	<p></p> <p>土屋理事</p> <p>土屋理事</p>



議事内容	アクション
<p>● <b>報告事項</b></p> <p>①平成16年度事業報告ならびに法人変更届出(富田)(添付8参照) 東京都NPO法人窓口への2004年度事業報告書提出ならびに法務局港出張所への法人変更届出の終了報告があった。</p> <p>一連の報告・届出業務における留意事項等が紹介されたが、定款の改定が望まれる点二件が紹介された。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・伸張規定の追加</li><li>・特定非営利活動の種類追加 伸張規定の追加は2006年の総会以前に行い、活動種類の追加は2006年の総会にて行うのがよいのではないかと意見が出された。</li></ul>	

承認	
承認	
承認	
記録作成	神野 秀基